

# 平成29年度森林総合監理士育成研修事業

開催日時 平成29年11月8日（水）～ 10日（金）  
研修場所 徳島県西部県民局会議室（徳島県三好市）  
現地研修 フォレストキャンパス三好、徳島県三好市民有林外（徳島県三好市）  
受講者 県職員6名、市町村職員1名、森林管理局職員8名

## 【概要】

### ○研修運営状況、研修生の様子など

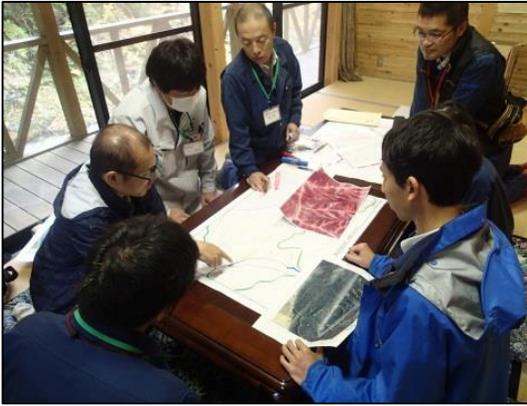
- 1日目は事前課題レポート「自身の地域における民有林連携の推進に向けた取組」の課題点と問題点、優良事例について発表。その後、四国局、徳島署、徳島県から、それぞれの取組について発表を行った。
- 2日目は、フォレストキャンパス三好において、局内部講師による「森林作業道について」の講義後、各班毎に森林作業道のルートを入れる机上演習を実施。午後は、現場へ移動し、既設の森林作業道を歩きながら現地踏査等を行い、研修会場に戻り、踏査した情報を基にルートの再検討・確認を行い、各班から発表を行った。
- 3日目は、局内部講師による「協調販売・協調出荷について」の講義後、研修会場の駐車場に移動し、ニホンジカ捕獲用小型囲いわなのデモンストレーションを実施。最後に研修テーマである「民有林連携の推進を円滑に進める」について各班でKJ法とPK法を用いてまとめ、発表・質疑応答、講評で本研修を終了した。
- 全体としては、各講義や発表の後には必ず質疑応答の時間を設け、受講生からはそれぞれの視点で活発な意見が出てきていた。

## 【研修の様子（1日目）】



事前課題レポートについて、各自発表し共有している様子

## 【研修の様子（2日目）】



「森林作業道予定線の構想」演習の様子



現地において机上演習との違いおよび確認のため、現地踏査をしている様子



各班で検討した森林作業道ルート発表の様子



ニホンジカ捕獲用小型罠ワナのデモンストレーションの様子



「民国連携の推進を円滑に進めるため」の発表の様子